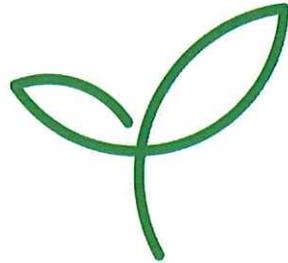


令和7（2025）年度

# ふたばこども園自己評価



認定こども園

佐賀女子短期大学付属

ふたばこども園

令和8(2026)年 3月13日

# も く じ

- 1 ～ 4 園の教育・保育目標等
- 5 保護者のアンケート結果・・・ 資料 1－1 資料 1－2 資料 1－3 資料 1－4
- 6 教職員の自己評価集計表
- 7 園の自己評価及び保護者アンケートによる総合総合評価と評価委員の評定
- 8 総合評価、次年度への課題及び改善策
- 9 「総合評価」「次年度への課題・改善策」 に対する評価委員の意見
- 10 今回の「園の自己評価」全般を投資手の感想や意見・課題など
- 11 関係者評価委員会による評価を終えて

1 園教育目標

「遊びは学び」という乳幼児教育の理念を基本とし、子どもの主体的、創造的活動を促すとともに集団生活をとおして、思いやりの心や社会性を身につけ、生きる力の基礎を培う。

2 求める子どもの姿（①～知識や技能、②～思考力・判断力・表現力等、③～学びに向かう力、人間性等）

やさしく	かしこく	たくましく
○ 感性豊かな子 ③	○ 様々な気づきや発見を楽しめる子 ①	○ 進んで運動する子 ①
○ 相手の気持ちを受け止める子 ③	○ 新しい考えを生み出す子 ②	○ 遊びを通して身体感覚を高める子 ①
○ 思いやりの心もち、行動に移せる子 ③	○ 自分の思いを表現し、伝え合える子 ②	○ 自然に親しみ、自然のすばらしさと戯れる子 ②

3 教育方針

【青文字】は新「認定こども園教育・保育要領」に示された、幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿

① 食事を楽しみ、健康や望ましい食生活習慣を身につけるようになる。	【健康な心と体】
② 目標を定めて挑戦し、充実感や満足感、そして達成感を味わうことができるようになる。	【自立心】
③ 日常生活・集団生活の中で言葉を通して人間関係を深めるようになる。	【協同性】
④ あいさつや決まりを守ることなど集団生活に必要な生活習慣が身につくようになる。	【道徳性・規範意識の芽生え】
⑤ 地域とのつながりを深め、豊かな体験ができるようになる。	【社会生活との関わり】
⑥ 体験活動や探究活動を重視し、感性を高め、知的発達が芽生える。	【思考力の芽生え】
⑦ 身の回りのものや自然の事物と親しむ中で、生命の神秘や不思議さ、美しさを感じ、自然を大事にしようとする。	【自然との関わり・生命尊重】
⑧ 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、それらに興味や関心、感覚を持つようになる。	【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
⑨ 豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝えあいを楽しむようになる。	【言葉による伝え合い】
⑩ 心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせ、表現する喜びを味わうことができるようになる。	【豊かな感性と表現】

4 評定

評定の基準	関係者評価の判定基準
A とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が75%以上	A 園の自己評価を 納得できる
B とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が60%以上75%未満	B // だいたい納得できる
C とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%以上60%未満	C // あまり納得できない
D とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%未満	D // 納得できない

5 保護者のアンケート結果 …… 資料1-1 ・ 資料1-2 ・ 資料1-3 ・ 資料1-4

6 教職員の自己評価 …… 資料2

7 園の自己評価及び保護者アンケートによる総合評価と評価委員の評定

5 園の自己評価のための保護者アンケート集計【0・1・2・満3歳児】回収率63/70=90.0%

(上段：人数・下段：割合)

資料 1-1

No	観 点	アンケートの内容	評価の段階					評価の段階		
			①	②	③	④	⑤	①+②	③+④	⑤
			とても そう思う	そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分から ない			
1	教育・保育 の目標	ふたばでは、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念に基づき、子どもの主体性や自発的な遊びを大切に教育・保育に努めています。また、こうした取り組みは、こども家庭庁から「先駆的な取り組み」を行っている園として選ばれました。子どもたちは遊びを通して成長し、のびのび元気に園の生活を送っていると思いますか？	50	13	0	0	0	63	0	0
			79.4%	20.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
2	教育・保育 の工夫 及び研修	ふたばでは、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りの遊具やおもちゃを準備するなどして、遊びの環境を整えるようにしています。また、月1回以上の園内研修（勉強会）を行ったり、著名な先生をお招きして指導を受けたりして研鑽を積んでいます。こうしたことは、質の高い教育・保育を提供することにつながっていると思いますか？	49	13	0	0	1	62	0	1
			77.8%	20.6%	0.0%	0.0%	1.6%	98.4%	0.0%	1.6%
3	組織力	ふたばでは、毎日、話し合いを行い、教育・保育や行事等の実践を振り返り、情報等の共有を行っています。また、子どもの保育や支援などについて、先生（職員）同士で連携したり、協力したりするように努めています。先生（職員）たちはチームワークが取れていると思いますか？	44	18	1	0	0	62	1	0
			69.8%	28.6%	1.6%	0.0%	0.0%	98.4%	1.6%	0.0%
4	安全・環境	ふたばでは、毎月園舎や遊具の安全点検を行ったり、はう、立つ、歩くなどの行動が自由にできるように保育室の環境整理を行ったりしています。こうしたことは、子どもたちが安心して、安全に、園で過ごすための環境づくりに努めていることになると思いますか？	49	14	0	0	0	63	0	0
			77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
5	連携・信頼	ふたばでは、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話し、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。担任（先生たち）に、気軽に連絡や相談、お話などができますか？	44	17	1	1	0	61	2	0
			69.8%	27.0%	1.6%	1.6%	0.0%	96.8%	3.2%	0.0%
6	園の公開	ふたばでは、個人情報の保護に配慮しながら、お便りや写真の掲示、インスタグラムなどで、子どもたちの遊びの様子や育ちの姿を保護者に伝えようと工夫しています。こうしたことは、園の「公開」や「見える化」につながっていると思いますか？	46	14	1	0	2	60	1	2
			73.0%	22.2%	1.6%	0.0%	3.2%	95.2%	1.6%	3.2%
7	道徳性 の指導	ふたばでは、できるだけゆったりとした園生活が送れるように、一人一人の生活リズムを考えながら、給食や午睡などのやり方を工夫したり、遊びの環境を作ったりしています。こうしたことは、子どもたちの健やかな成長につながっていると思いますか？	48	14	0	0	1	62	0	1
			76.2%	22.2%	0.0%	0.0%	1.6%	98.4%	0.0%	1.6%
8	生活習慣 の指導	ふたばでは、やさしく声をかけ、応答を楽しんだり、スキンシップを取ったりすることに努めています。こうしたことは、お子さまが安心して、のびのびと園生活を送ることにつながっていると思いますか？	51	12	0	0	0	63	0	0
			81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
9	身近な 人たちとの かわり	ふたばでは、身近なところに散歩に出かけたり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊ぶ機会を多く持ったりしています。こうしたことは、子どもたちに多様な体験やいろいろな人との関わりを大切にする教育・保育を提供していることにつながると思いますか？	48	15	0	0	0	63	0	0
			76.2%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
10	食育	ふたばでは、授乳や給食について家庭と連携を取り、一人一人の体調の変化や生活リズムに合わせ、ゆったりと関わりながら飲食させるように努めています。こうしたことは、「食育」の推進につながると思いますか？	43	20	0	0	0	63	0	0
			68.3%	31.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

5 園の自己評価のための保護者アンケート集計【年少・年中・年長】回収率161/175=92.0%

(上段：人数・下段：割合)

資料1-2

NO	観点	アンケートの内容	評価の段階					評価の段階		
			① とても そう思う	② そう思う	③ あまり そう 思わない	④ そう 思わない	⑤ 分から ない	①+②	③+④	⑤
1	教育・保育の目標	ふたばでは、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念に基づき、子どもの主体性や自発的な遊びを大切にされた教育・保育に努めています。また、こうした取り組みは、こども家庭庁から「先駆的な取り組み」を行っている園として選ばれました。子どもたちは遊びを通して成長し、のびのび元気に園の生活を送っていると思いますか？	120	40	1	0	0	160	1	0
			74.5%	24.8%	0.6%	0.0%	0.0%	99.4%	0.6%	0.0%
2	教育・保育の工夫及び研修	ふたばでは、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りの玩具やおもちゃを準備するなどして、遊びの環境を整えるようにしています。また、月1回以上の園内研修（勉強会）を行ったり、著名な先生をお招きして指導を受けたりして研鑽を積んでいます。こうしたことは、質の高い教育・保育を提供することにつながっていると思いますか？	118	40	1	0	2	158	1	2
			73.3%	24.8%	0.6%	0.0%	1.2%	98.1%	0.6%	1.2%
3	組織力	ふたばでは、毎週学年の話し合いを行い、教育・保育や行事等の実践を振り返り、情報等の共有を行っています。また、子どもの保育や支援などについて、先生（職員）同士で連携したり、協力したりするように努めています。先生（職員）たちはチームワークが取れていると思いますか？	106	53	0	0	2	159	0	2
			65.8%	32.9%	0.0%	0.0%	1.2%	98.8%	0.0%	1.2%
4	安全・環境	ふたばでは、毎月施設や玩具の安全点検を行ったり、各保育室などの清掃や整理整頓を行ったりしています。こうしたことは、子どもたちが安心して、安全に、園で過ごせる環境づくりに努めていることになると思いますか？	118	37	2	0	4	155	2	4
			73.3%	23.0%	1.2%	0.0%	2.5%	96.3%	1.2%	2.5%
5	連携・信頼	ふたばでは、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話しし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。担任（先生たち）に、気軽に連絡や相談、お話などができますか？	95	63	0	1	2	158	1	2
			59.0%	39.1%	0.0%	0.6%	1.2%	98.1%	0.6%	1.2%
6	園の公開	ふたばでは、個人情報の保護に配慮しながら、お便りや写真の掲示、インスタグラムなどで、子どもたちの遊びの様子や育ちの姿を保護者に伝えようと工夫しています。こうしたことは、園の「公開」や「見える化」につながっていると思いますか？	101	53	5	0	1	154	5	1
			62.7%	32.9%	3.1%	0.0%	0.6%	95.7%	3.1%	0.6%
7	道徳性の指導	ふたばでは、子ども同士のトラブルや人を傷つけるような言動があった場合、子どもの意見や思いを聴きながら、子ども自身が納得し解決するように努めています。こうした指導は、規範（ルール）や自分も友達も大切にするなど、道徳性の芽生えを育てていると思いますか？	94	61	1	0	5	155	1	5
			58.4%	37.9%	0.6%	0.0%	3.1%	96.3%	0.6%	3.1%
8	生活習慣の指導	ふたばでは、子どもたちに基本的な生活習慣が身に付くように、先生たちがあいさつや正しい言葉遣い等を自ら励まし、子どもの手本となるように努めています。こうしたことは、子どもが自分の成長に応じて、生活習慣を身に付けることにつながっていると思いますか？	105	52	3	0	1	157	3	1
			65.2%	32.3%	1.9%	0.0%	0.6%	97.5%	1.9%	0.6%
9	身近な人たちとのかわり	ふたばでは、地域の公園や公共の施設に出かける園外保育を行ったり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊ぶ機会を多く持ったりしています。こうしたことは、子どもたちに多様な体験やいろいろな人との関わりを大切にされた教育・保育を提供していることにつながると思いますか？	129	30	1	0	1	159	1	1
			80.1%	18.6%	0.6%	0.0%	0.6%	98.8%	0.6%	0.6%
10	食育	ふたばでは、子どもたちが給食や食べものに興味・関心を持つように指導の工夫をしたり、給食のメニューをインスタグラムで紹介したりしています。こうしたことは、「食育」の推進につながると思いますか？	110	44	4	0	3	154	4	3
			68.3%	27.3%	2.5%	0.0%	1.9%	95.7%	2.5%	1.9%
年長の み	幼小の 接続・連携	年長児は、近隣の小学校を訪問し（例年2月に本庄小を訪問します）、小学生とのふれあいの活動等に参加しています。また、先生たちは子どもたちが進学する小学校を訪問し、情報交換や事務連絡等を行っています。こうしたことは、幼小の接続や連携に役立っていると思いますか？	42	22	0	0	0	64	0	0
			65.6%	34.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

5 園の自己評価のための保護者アンケート 集計 【総計】

(上段：人数・下段：割合)

資料 1-3

配付数 70 回収数 63 回収率90.0%  
【0・1・2・満3歳児 保護者】

配付数 175 回収数 161 回収率92.0%  
【3・4・5歳児 保護者】

配付数 245 回収数 224 回収率91.4%  
【保護者 総合】

NO	評価の観点（項目）	評価の段階			評価の段階			評価の段階		
		①+②	③+④	⑤	①+②	③+④	⑤	①+②	③+④	⑤
		とてもそう 思う + そう思う	あまりそう 思わない + そう思わない	わからない	とてもそう 思う + そう思う	あまりそう 思わない + そう思わない	わからない	とてもそう 思う + そう思う	あまりそう 思わない + そう思わない	わからない
1	教育・保育の目標	63 100%	0 0.0%	0 0.0%	160 99.4%	1 0.6%	0 0.0%	223 99.6%	1 0.4%	0 0.0%
2	教育・保育の工夫 及び研修	62 98.4%	0 0.0%	1 1.6%	158 98.1%	1 0.6%	2 1.2%	220 98.2%	1 0.4%	3 1.3%
3	組織力	62 98.4%	1 1.6%	0 0.0%	159 98.8%	0 0.0%	2 1.2%	221 98.7%	1 0.4%	2 0.9%
4	安全・環境	63 100%	0 0.0%	0 0.0%	155 96.3%	2 1.2%	4 2.5%	218 97.3%	2 0.9%	4 1.8%
5	連携・信頼	61 96.8%	2 3.2%	0 0.0%	158 98.1%	1 0.6%	2 1.2%	219 97.8%	3 1.3%	2 0.9%
6	園の公開	60 95.2%	1 1.6%	2 3.2%	154 95.7%	5 3.1%	1 0.6%	214 95.5%	6 2.7%	3 1.3%
7	道徳性の指導	62 98.4%	0 0.0%	1 1.6%	155 96.3%	1 0.6%	5 3.1%	217 96.9%	1 0.4%	6 2.7%
8	生活習慣の指導	63 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	157 97.5%	3 1.9%	1 0.6%	220 98.2%	3 1.3%	1 0.4%
9	身近な人たちとの かかわり	63 100%	0 0.0%	0 0.0%	159 98.8%	1 0.6%	1 0.6%	222 99.1%	1 0.4%	1 0.4%
10	食育	63 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	154 95.7%	4 2.5%	3 1.9%	217 96.9%	4 1.8%	3 1.3%

## 6 教職員の自己評価 集計表

(上段：人数・下段：割合)

資料 2

NO	評価の観点	評価内容	評価の段階				評価の段階	
			①	②	③	④	①+②	③+④
			よく あてはまる	あてはまる	あまり あてはまらない	全く あてはまらない		
1	教育・保育の目標	「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や本園の目標に基づき、子どもの主体性を大切にし、遊びを通じた教育・保育を実践するように努めている。	17 60.7%	11 39.3%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
2	指導の工夫・改善	子どもたちが主体的に遊び、豊かな体験ができるように、遊びの環境や指導の工夫・改善に努めている。	12 42.9%	16 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	28 100%	0 0.0%
3	組織力	教育・保育や学年学級経営、学年の課題等に対し、組織力やチームワークを大切にする意識を持ち、学年や先生方で話し合ったり、協力したりしている。	13 46.4%	15 53.6%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
4	安全・環境	施設・設備の安全について定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室などの清掃、整理・整頓に努めている。	10 35.7%	18 64.3%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
5	連携・信頼	子どもが安心して園ですごしたり、保護者が気軽に相談したりできるように、子どもや保護者との信頼関係を作るように努めている。	15 53.6%	13 46.4%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
6	園の公開	保護者参加の行事や保育参観・保育参加、学年便りやインスタ等を通して、園の様子を公開するように努めている。	15 53.6%	13 46.4%	0 0.0%	0 0.0%	28 100%	0 0.0%
7	道徳性の指導	してよいこと、悪いことなどの規範や自分も友達も大切にするなど、道徳性や規範意識を育てるように努めている。	18 64.3%	10 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0 0.0%
8	生活習慣の指導	挨拶をするやきまりを守るなど、基本的な生活習慣が身に付くように自ら率先して手本を見せたり、指導したりするように努めている。	18 64.3%	9 32.1%	1 3.6%	0 0.0%	27 96.4%	1 3.6%
9	身近な人たちとのかかわり	短大の学生や高校の生徒とのふれあいを活かしたり、身近な地域や公園などに出かける園外保育を工夫したりして、子ども達によりよい教育・保育を提供するように努めている。	9 32.1%	18 64.3%	1 3.6%	0 0.0%	27 96.4%	1 3.6%
10	食育の推進	子どもたちが望ましい食の習慣を身に付けるように、給食指導等を行ったり、家庭と連携を図ったりするように努めている。	11 39.3%	17 60.7%	0 0.0%	0 0.0%	28 100%	0 0.0%
11	幼小の接続・連携	年長では、小学校生活に期待や憧れを抱く機会を設けたり、「10の姿」を意識した教育・保育に取り組んだりしている。 (年長児担当)	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%

7 園の自己評価及び保護者アンケートによる総合評定と評価委員の評定

【保護者 総合】

【教職員の自己評価】

NO	評価の観点 (項目)	評価の段階			評価の段階		評定			評定の気づき	関係者評価委員の評定	
		そう思う ①+②	そう 思わない ③+④	わから ない ⑤	あてはまる ①+②	あてはま らない ③+④	保 護 者	教 職 員	総 合		評 定	講 評
1	教育・保育 の目標	223	1	0	28	0	A	A	A	すべての職員が子ども主体の教育・保育を意識しながら日々、子どもと向き合っている。また、ほとんどの保護者が子どもの姿を通して本園の「遊びは学び」という本園の子ども主体の教育・保育の方針を理解し、実践を支持している。	A	○概ね高い評価を得ていることは、保育者としての実践がしっかり保護者に伝わっている証拠だと思います。 ○道徳教育や食育については、様々な視点やご意見があるということをおまえる、今後も検討が必要な領域であると思われました。
		99.6%	0.4%	0.0%	100.0%	0.0%						
2	教育・保育 の工夫、研修	220	1	3	28	0	A	A	A	子ども主体の教育・保育を実践するために、職員は種々の研修を通して研鑽を積み、遊びの環境を整えている。保護者の多くが質の高い教育・保育につながると評価している。	A	○個人情報保護とのバランスについても、保護者の中で様々な意見がある領域であり、こちらも検討を重ねることが大切であると改めて考えました。
		98.2%	0.4%	1.3%	100.0%	0.0%						
3	組織力	221	1	2	28	0	A	A	A	各学年チーフを中心に工夫して情報の共有を行い、職員同士が連携をしながら日々の教育・保育を行っている。また、ほとんどの保護者にも連携がとれていると評価されている。	A	○園の保育方針が明確に示され、それに則った教職員の日々の努力そして具体的な評価内容が評定結果に表れたものだと思います。
		98.7%	0.4%	0.9%	100.0%	0.0%						
4	安全・環境	218	2	4	28	0	A	A	A	すべての職員が安全や環境の整備に気を遣いながら日々の実践に臨んでいるが、ヒヤリハット事例の共有などはさらに徹底して取り組む必要がある。また、保護者も多くが安全な環境作りに取り組んでいると思っている。	A	○教育・保育の目標においてとてもしっかりと教職員と保護者の間で相互理解がとれていると思います。
		97.3%	0.9%	1.8%	100.0%	0.0%						
5	連携・信頼	219	3	2	28	0	A	A	A	職員は全員が保護者との連携をできるだけ図り、信頼関係を作るように努めている。また、保護者の多くが連絡や相談等がしやすいと思っているが、連絡手段については利便性や確実性の点からさらに改善を求める要望もある。	A	○教育の目標は園と保護者が同じ方向を向いてよく理解し合っているものと思われ ます。
		97.8%	1.3%	0.9%	100.0%	0.0%						
6	園の公開	214	6	3	28	0	A	A	A	学年だよりやインスタグラムなど、様々な方法で園の様子を公開するように努めている。また、保護者や祖父母の保育参加などにより、保護者の多くが園は公開に繋がっていると感じているが、SNSのあり方については個人情報保護の観点から、検討を求める意見もある。	A	○日々の関わりが保護者に伝わっていること の表れと思われ。インスタグラムでは自分の子どもが写っているものでなくても、こんな行事があつてんだと参考になることも多いので、引き続き公開してほしいと個人的には思います。ただし個人情報保護の観点もあるので、保護者の間のみでの公開も検討してほしいです。しかし、入園を迷っている人にとってインスタグラムなどの情報は必要と思 います。
		95.5%	2.7%	1.3%	100.0%	0.0%						
7	道徳性 の指導	217	1	6	28	0	A	A	A	全職員、日々の実践の中で子どもたちの道徳性や規範意識が育つように寄り添いながら取り組んでいる。保護者も保育教諭が道徳性や規範意識を育てるようにしていると評価している。	A	○保護者、教職員のどちらも、すべての項目でA評定となっており、ふたばこども園の方針がどちらにも理解されていることが明らかになって素晴らしいと思 いました。
		96.9%	0.4%	2.7%	100.0%	0.0%						
8	生活習慣 の指導	220	3	1	27	1	A	A	A	「挨拶をする」や「きまりを守る」などを、職員が目手本を見せたりなぜそれが必要かを考えさせる指導をしたりすることを通して、子どもにも基本的な生活習慣が身に付くように努めている。保護者の多くが、そうしたことは生活習慣を身につけることにつながると評価している。	A	
		98.2%	1.3%	0.4%	96.3%	3.7%						
9	身近な人たち のかかわり	222	1	1	27	1	A	A	A	短大・高校の学生・生徒の実習等を通して様々な立場の人と触れ合ったり、祖父母保育参加を企画したりするなど、子どもが身近な人たちとの関わりを持つように工夫している。保護者のほとんどが、社会性が育つ質の高い教育・保育につながっていると評価している。	A	
		99.1%	0.4%	0.4%	96.3%	3.7%						
10	食育	217	4	3	28	0	A	A	A	全職員が、子どもたちに望ましい食の習慣を身に付けるように給食指導を行い、家庭と連携を図ることに努めている。また、給食のメニューをインスタグラムで紹介したりしている。保護者の多くは、こうしたことは「食育」の推進につながっていると思っている。	A	
		96.9%	1.8%	1.3%	100.0%	0.0%						

## 8 総合評価

①	アンケートの回収率は、3歳未満児が90.0%（63/70）3歳以上児が161/175で92.0%、全体では224/245で91.4%であった。R5年度からは連続して90%を超えており、保護者の園の教育・保育への関心の高さと協力的な姿勢が伺える。今回アンケート調査の方法について電子媒体での配付及び回答を検討したが、質問項目内容に園の具体的な取り組みを記載しているため、読みこなすのにある程度の時間が必要と考え紙での調査のままとした。調査方法についての意見や提案は今回特になかったものの今後の検討事項とした。
②	今回も保護者アンケート10項目すべてにおいて「そう思う」が95%以上の高い評価であった。特に、「教育・保育の目標」、「教育・保育の工夫及び研修」、「組織力」、「生活習慣の指導」、「身近な人々とのかわり」の5項目においては98%以上という高い値だった。本園の教育・保育の柱としている「子ども中心の教育・保育」とそれに対しての職員の取り組みが、子どもの姿を通して保護者に伝わっている証であると考え。
③	職員に実施した自己評価では、10項目すべてにおいて「あてはまる」の評価が95%を超える結果となった。ふたばの教育・保育方針への理解が進み、前向きな姿勢で工夫や努力をしながら日々の実践を行っていることがうかがえる。しかしながら、「よくあてはまる」と「あてはまる」の段階を細かく見ると「教育・保育の目標」「道徳性の指導」「生活習慣の指導」など「よくあてはまる」が60%を超えているものと逆に「安全・環境」や「身近な人との関わり」などは「あてはまる」の方が60%を超えており、やや控えめに評価している項目もある。反省点をそれぞれが自覚してよりよい保育につなげていけるようこれからも研修等の工夫をしていきたい。
④	保護者アンケートで最も「そう思わない」が多かった（6名2.7%）項目が「園の公開」である。保護者の保育参加やInstagramなどを利用して公開に努めているが、保護者の自由記述でInstagramの公開頻度について、もっと頻繁に更新してほしいという意見と、子どもの写真等の公開について慎重な意見と双方がある。
⑤	昨年度から保護者アンケートの項目を13項目から10項目に集約し、アンケートの内容もできるだけ答えやすいよう、園が取り組んでいる内容を文章で説明を加えて質問項目を設定した。そのためか「わからない」の値は昨年度と比較しても減少している（29から25）。今後も園の教育・保育方針を保護者には丁寧に伝えていきたい。

## 9 次年度への課題・改善策

①	教育・保育の工夫及び研修 (観点2)	「遊びは学び」という方針に基づく本園の教育・保育は、実際の子どもの姿としてその育ちが保護者にも伝わっていると感じている。多くの著名な講師を招聘して園内研修を行い、研究保育や公開保育を実践することは、職員の確実な力量アップへとつながっており、そうした取り組みを佐賀市・県のみならず乳幼児教育実践学会などでも発表して高い評価をいただいている。こうした取り組みは職員の自信にもなり、より質の高い教育・保育へとつながる好循環を生んでいる。今後も教育・保育の質を高めることを第一に考え、取り組んでいきたい。
②	安全・環境 (観点4)	定期的な施設・設備の点検は行っており、保護者の評価も高い。しかしながら園舎や遊具などの経年による劣化や園庭や保育室の清掃、整理整頓について職員は「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると100%の評価であるものの、他の項目と比較して「よくあてはまる」が約35%と、やや控えめな評価となっている。園舎や施設・設備の修繕や整備については、子どもたちの安全を第一に、法人本部とも協議の上計画的に行っていくようにしたい。
③	連携・信頼 (観点5)	教育・保育を行う上で大変重要な信頼関係の構築については、保護者の「そう思う」が97.8%で大変高い割合となっている。職員も保護者との信頼関係を結ぶために直接対話や電話での連絡を心がけており、昨年度と比較（昨年度は96.5%）しても上昇している。ただ、若い職員の中には保護者対応に苦手意識を持つ者もいるため、連携の大切さを実感させるとともに研修の実施についても検討していきたい。
④	園の公開 (観点6)	総合評価の欄でも述べたが、保護者アンケートで最も「あまりそう思わない」「そう思わない」が多かった項目である。ただし昨年度や一昨年度と比較すると人的には減少しており、いろいろな行事や保育参観・参加、誕生会など、保護者が来園する機会を多く設けたことや、Instagramも内容や質の高まりを考え、個人情報保護の観点を大切に公開したことで少しずつ理解が広がっていると思われる。保護者の自由記述においてもSNSでの公開については積極的な意見と慎重な意見があり、今後は保護者のみ閲覧できるソフトウエア等の導入も視野に入れてさらなる「見える化」に努めていきたい。

⑤ 身近な人たち とのかわり (項目9)	本園は短大や高校生など、同じ学校法人内の学生や他大学の実習生など、職員以外の大人と触れ合う機会が大変多い。また、園外保育も積極的に企画して公園やイベント等に出かけ様々な人やもの、ことに触れ合うようにしている。保護者からも高い評価をいただいているが、職員はもっと様々な企画を行いたいという思いがあり、工夫改善の余地を残している。地域連携の一環としてこれまでかわりのなかった学校や団体ともより積極的に関わりを持つよう探っていきたい。
⑥ 保護者の アンケート	回収率は91.4%で今年度も高い回答率であった。また、肯定的な評価が平均して97%を越えており、自由記述についてもたくさんの感謝の言葉をいただいている。その分ご指摘をいただいた点、特に行事のあり方について以前のやり方を求められる保護者もあり、指摘は真摯に受け止めながらも園の方針や行事の在り方については、より丁寧に説明してご理解いただく必要がある。

## 10 「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

- 先生方の保育の実践が、保護者に理解いただいている結果がアンケートにしっかり反映していることは、とても喜ばしいことと思います。(学識経験者)
- 保育のねらいや視点などについては、保護者の理解が難しい側面もあるので、先生方の説明と実践とをつなげていく必要があるということでもあったと思います。(学識経験者)
- インスタグラムなどのツールについては、個人情報保護と子どもの姿の共有や情報発信など、バランスが難しいところでもあるので、今後も保護者の理解を求める部分と情報発信のお工夫が必要な部分でもあったと思います。(学識経験者)
- アンケートの方法については、スマートフォンを利用している保護者が多いという観点からは、Web型のアンケートが回答しやすいというメリットがありますが、情報が整理されにくいというデメリットもあると思われ、実施方法に迷われるところも大きいかと思います。とはいえ、一度実施して反応を見てみるということも行っても良いのかなとは思いますが。(学識経験者)
- 保護者アンケートの結果に対しどこかで返答する機会(コドモン等)があるとさらに理解を得られるのでは。(保護者代表)
- 回答率が高く、すべての項目で保護者、教職員どちらも高い評価を得ており、現在の園の取り組みや方針に間違いはないということが証明されたと思います。今後も自信をもって今の保育に取り組み、レベルアップを目指し続けていただければと思います。(学識経験者)
- 自由記述での様々なご意見については、大多数の保護者が今の方針をご理解いただいている状況を踏まえると、あまり左右されすぎないようにしつつ、貴重な参考意見として今後に生かすとよいと思います。(学識経験者)
- 今後の課題として「園の情報公開」についてはSNSでの個人情報の取り扱いと更新頻度を上げてほしいという両方の希望があり、現代ならではの新たな対応が求められていると感じました。社会全体の方向性を踏まえながら保護者と一緒によりよい方法を検討されていくと良いのではと思います。(学識経験者)
- 年々アンケートの回収率が上がって今年度91.4%に達したことは、園の取り組みが子どもの姿に表れ保護者の園理解が深まりに繋がった証だと思えます。ふたばが掲げる「遊びは学び」という乳幼児の教育理念のもと、教職員が日々熱心に研修を深め、実践に取り組んだ成果を存分に感じ取ることができました。(地域代表)
- ふたばの教育方針を理解し、子供を通わせている保護者の思いにすべて応えていくことはとても難しいですが、避けて通ることのできない重要なことでもあります。お互いに連携し信頼関係を構築していくためには双方の対話を重ねていくしかないと思います。若い先生方への研修もしていただきたいです。(地域代表)

## 11 今回の「園の自己評価」全般を通しての感想や意見・課題など

- 保育者としての実践だけでなく、研修や発表の機会を作るなど、研鑽に励まれている姿にいつも感心しております。その姿が、保護者の理解を得ることにもつながっていたり、学生の良い学びの場としても機能しているものと思っております。(学識経験者)
- 今回の結果を基に、またさまざまな取り組みを行われることと思いますので、日ごろの様子を見させていただくことも含めて楽しみにしていきたいです。(学識経験者)
- 項目が非常にわかりやすく集約されており、答える側(保護者)からしても答えやすく、評価する際にも内容や要点を見返しやすかったです。そのことが高い回収率にも繋がっているのではないかと思います。(保護者代表)
- ふたばこども園が目指す保育について、保護者も教職員も同じ方向を向いて取り組まれていることがよくわかりました。このことが何より子どもたちの育ちに繋がって行くと思います。今後もぜひ「遊びは学び」の保育について皆さんで連携を取りながら高めていただければと思います。(学識経験者)
- 先生たちは向上心が強いと思う。これ以上を目指すのは難しいと思うが、向上する気持ちがないと現状維持も難しい。(保護者代表)
- 園の「遊びは学び」を理解しない人たちは「道徳性」の指導が分からないという人が多い。「こういう保育をした方が相手への思いやりの心など育つのですよ」ということをもっと発信した方がよい。ちゃんと批判は分かったうえで、こういう理由でこうしてますというの分かりやすい。(学識経験者)
- インスタグラムはとても便利なツールですが、あくまでも一方的な情報提供になりがちです。受け取る側の思いを考えるととても難しい課題です。同様に電子版によるアンケートは手軽にできそうですが紙媒体に比べたら思いが伝わりにくい面もあります。電子版と紙媒体の併用もありがたかなと思います。(地域代表)

## 12 関係者評価委員会による評価を終えて

- 評価アンケートの回収率が91.4%という高い回収率となった。関係者評価委員の保護者代表からは項目が整理され分かりやすく集約されているために、回答する側からしても非常に答えやすかったと意見をいただいている。これからも園の様子の説明や公開、様々な「見える化」の手段を工夫して、保護者の方がより評価しやすい評価項目、内容へと改善・工夫を行っていききたい。
- 関係者評価委員の方々からは、自己評価のすべての項目で「A」評価をいただいた。保護者及び関係者評価委員の方の高い評価は、職員にとっても園にとっても大変励みになる。ただ、数名の保護者に「そう思わない」、「わからない」という評価をいただいた項目がある。そうした評価にも真摯に向き合い、改善に取り組んでいくようにしたい。
- 「総合評価」や「次年度の課題、改善策」の欄に記載しているとおり、関係者評価委員の皆様からは特に子ども主体の遊びを中心にした教育・保育の実践とその成果について高い評価をいただいた。引き続き期待に沿うよう努力していききたい。
- 保護者自由記述には、感謝や称賛の内容の記述をたくさんいただいでうれしく思う反面、少数意見ではあるが厳しいご指摘もあった。個別の対応を求められるものについては難しい面もあり、すべての要望に応えることは困難だが、丁寧に説明する努力をしていきたい。
- SNSなどによる情報の公開については、保護者の意見としても積極的なものと慎重なものに分かれる結果となった。公開の目的を踏まえたうえで、子どもの様子を保護者のみに公開できるようなシステムの導入等についても今後検討していききたい。
- 職員研修を計画的に続けてきたことで、職員の「子ども中心の教育・保育」に対する理解が深まってきた。その結果、日々の保育の中にその成果が生かされるようになり保育の質が確実に高まっている。これからもさらに信頼される園となるよう研鑽を積んでいきたい。